

信仰奨励章手帳



日本ボーイスカウト兵庫連盟

地区 第_____団

_____隊 _____班

名前 _____

日本連盟教育規程集

本連盟は、本運動に参加する者が明確な信仰を持つことを奨励する。



ちかい

私は名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

- 一、神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
- 一、いつも、他の人々をたすけます。
- 一、からだを強くし、心をすこやかに徳を養います。

おきて

1. スカウトは誠実である
2. スカウトは誠実である
3. スカウトは誠実である
4. スカウトは誠実である
5. スカウトは誠実である
6. スカウトは誠実である
7. スカウトは誠実である
8. スカウトは誠実である

課目 1.

初級以上のボーイスカウト、またはベンチャー
スカウトであること。

現在の級 _____

認承日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

認承者 _____

課目 2.

隊集会やキャンピング・ハイキングでスカウト
タウン・サービスに参加する。

日時 参加した集会名 場所

日 時

集会名

場 所

認承日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

認承者 _____

課目 3.

スカウトタウン・サービスで、自分ができる役割
を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、
感じたことを発表する。

実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

発表の簡単な内容

.....
.....
.....
.....
.....
.....

認承日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

認承者 _____

課目 4.

隊集会やキャンプ・ハイキングでのスカウト・サービスで主要な役割を果たす。

実施した年月日 _____年____月____日

実施場所はどこで _____

どんなプログラムで _____

あなたの役割は _____

話の簡単な内容

.....
.....
.....
.....

認承日 _____年____月____日

認承者 _____

課目 5.

「アンノウスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式(劇、紙芝居など)で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日々の善行」の実践のようすについて話す。

実施した年月日 _____年____月____日

実施場所はどこで _____

どんな行事で _____

どの表現形式で _____

「日々の善行」の実践の様子を簡単にまとめる

.....
.....
.....

認承日 _____年____月____日

認承者 _____

課目 6.

班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。(ターゲットバッジ G3「近隣奉仕」5と共通)

奉仕活動の実績(簡単に列記する)

認承日 _____年____月____日

認承者 _____

課目 7.

自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトオウン・サービスに参加する。

参加した年月日 _____年____月____日

どんな行事内容で _____

どの宗教(派)で _____

参加した会場 _____

簡単な感想

認承日 _____年____月____日

認承者 _____

課目 8.

自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の
教導者から信仰や宗教について話を聞く。

____年 ____月 ____日 場所 _____

教導者名 _____ 宗派 _____

話の簡単な内容

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

認承日 ____年 ____月 ____日

認承者 _____

課目 9.

B-Pのラストメッセージを読んで、班集会で話し合う。
(ターゲットバッジA 8「B-P」6と共通)

話し合いの簡単な内容

.....
.....
.....
.....
.....
.....

認承日 ____年 ____月 ____日

認承者 _____

【参考⑧：ベーデン - パウエルの言葉】

～ラストメッセージ～

スカウト諸君

「ピーターパン」の劇を見たことのある人なら、海賊の頭目が死ぬ時には、たぶん最後の演説をするひまはないにちがいないと思っ
ていつもその演説していたことを覚えているだろう。私もそれと同じように、今すぐ死ぬわけではないけれども、その日は遠くないと思うので、君たちにさよならの言葉をおくりたい。

これは、君たちへの私の最後の言葉なのだから、よくかみしめて読んでくれたまえ。私は非常に幸福な人生を送った。君たちみんなも、同じように幸福な生涯を送ってもらいたい。

神様は、私たちが幸福に暮し、人生を楽しむようにと、このすばらしい世界に、生まれさせてくださったのだと、私は信じている。金持ちになっても、社会的に成功しても、わがままができて、それによって幸福にはなれない。幸福に近づく第一歩は、少年の時に、体を丈夫に強くすることで、そうすれば、大人になった時役に立つ人になる。

自然研究をすると、神がこの世界を美しもの、すばらしいものに満ち満ちた、楽しい所にお造りになったことがよくわかる。今与えられているものに満足して、最善をつくし、物事に希望を持って、非観的にならないようにしたまえ。

しかし、幸福を得るほんとうの道は、ほかの人を幸福にある。この世の中を、君が受け継いで時より、少しでもよくしてあとに残すように努力したなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生を無駄にしないで最善をつくしたのだという満足感で、幸福に死ぬことができる。幸福に人生を送り幸福に死ぬために、この考えで常に備え、いつもスカウトのちかいを守り大人になってもそれを忘れないことだ—神よそれをしようとする君たちを、お守りください。

君たちの友

ベーデン・パウエル・オブ・ギルウエル

— 10 —



取得認証日 _____ 年 月 日

認証者（隊長）

署名 _____

平成 27 年 11 月 27 日改訂